ボツワナ共和国月報（２０２４年９月）

主な出来事

【内政】

〇　マシシ大統領、BDPの党首に再選
〇　ムティムクル環境・観光大臣死去
〇　マシシ大統領、国民議会解散及び総選挙の日程等を発表
〇　憲法改正案否決
〇　カーマ前大統領の電撃帰国
〇　グッドホープ・マテテ選挙区情勢
〇　大統領候補者が決定

【外政】

〇　マシシ大統領、FOCACサミットに出席
〇　マシシ大統領、第79回国連総会に出席

【経済】

〇　2024年の経済見通し（IMF）
〇　2024年度*第１四半期公的債務－本年度は国内債務の残高、GDP割合が急上昇－
〇　８月インフレ率は３．９％－前月より０．２ポイント上昇－
〇　燃料価格改定－値下改定－
〇　豪鉱物探査企業による試掘ライセンスの取得－カラハリ銅ベルト4千平米－
〇　EUの新規制がボツワナ牛肉輸出の足枷となる懸念
〇　７月の国際商品貿易統計－１１か月連続の貿易赤字－
〇　2024年第2四半期のGDP－実質ベースで前年同期比０．５％の減少－

【当館関連行事】

〇　ボツワナ見本市での日本文化紹介イベントの実施
〇　帰国留学生との懇談会及び新規留学生壮行会の実施
〇　第１４回国際交流基金主催日本映画祭の開催

【内政】

〇 マシシ大統領、BDPの党首に再選

８月３１日～９月１日、与党ボツワナ民主党（BDP）は特別総会を開催し、党首にマシシ大統領を再選し、総選挙に向けたマニフェストを発表した。

〇 ムティムクル環境・観光大臣死去

２日、ムティムクル環境・観光大臣が入院先のハボローネ市内の病院で死去した（享年４５歳）。同大臣は、ハボローネ南選挙区選出の国民議会議員で、本年２月に環境観光大臣に就任し、総選挙に向けBDP予備選に出馬し当選していた。４日、ツォフワネ大

統領代行は追悼の報道発表を公表した。９日、マシシ大統領はマクウィンジャ教育・技術開発副大臣（女性）を環境・観光大臣に任命した。

○ マシシ大統領、国民議会解散及び総選挙の日程等を発表

３日、マシシ大統領はFacebookのビデオ中継で、第１２国民議会の解散を５日、大統領候補指名日を２８日、国民議会候補指名日を１０月４日、総選挙を１０月３０日とする旨発表した。それに伴い、選挙当日及び翌３１日を祝日とするとした。

○ 憲法改正案否決

４日、国民議会にて6月に審理が終了し、憲法の定める3か月のクーリングオフ期間に付されていた憲法改正案の決議が行われた。同決議は、マシシ大統領及びクワペ外務大臣の中国訪問中、かつムティムクル環境観光大臣の死去直後の実施となった。今次投票では賛成は37票にとどまり、否決された。国民議会前では市民による抗議行動がみられた。

○ カーマ前大統領の電撃帰国

１３日、南アフリカでの逃亡生活を送っていたカーマ前大統領が電撃帰国し、ハボローネ市内の治安判事裁判所に出廷した。前大統領は複数の刑事事件で起訴され、法廷に出廷しなかったために逮捕状を発行されていたが、国境検問所で拘束されることはなかった。法廷で、前大統領は逮捕状の無効を主張し、裁判所は次回の23日審理まで逮捕状の効力の一時中断を決定した。

２１日、13日の出廷後、南アフリカに戻っていたカーマ前大統領はセロウェ（ボツワナ中部）に約2年振りに帰郷した。23日の審理は、治安判事の体調不良を理由に当日中止となり、前大統領が法廷に現れることはなかった。その後、24日、同大統領は自身が2019年に立ち上げたボツワナ愛国者戦線（BPF）の幹部らと会見を開き、選挙までにディコロティ保健大臣を含む候補者や政党と連携を模索していくと述べた。

○ グッドホープ・マテテ選挙区情勢

7日、BDP中央委員会は、ディコロティ保健大臣（当時）とセラメ財務大臣の間で行われたグッドホープ・マテテ選挙区の予備選の再選挙を決定し、１６日、同選挙の日程は２１日と発表された。しかし、１９日、BDPは１０月４日に予定される国会議員選挙まで時間がないこと、BDP党則で予備選のやり直しは規定されていないことから、再選挙は実施しないと発表した。報道によると、ディコロティ保健大臣を支持していた同選挙区選挙委員会副代表の家から、行方不明となっていた投票箱が発見されたため、BDPは予備選で敗れたセラメ財務大臣を同選挙区のBDPの候補に決定した。これを受け、ディコロティ保健大臣は本件を高等裁判所に提訴した。

２６日、マシシ大統領はディコロティ保健大臣の党員資格の６０日停止を決定し、同大臣は大臣職も失職となった。同大臣は、高等裁判所への提訴を取り下げると同時に、無所属候補として同選挙区で立候補する旨を表明した。なお、２７日、レラティシツェ保健副大臣が大臣に昇格することが発表された。

○ 大統領候補者が決定

２８日、ハボローネの高等裁判所にて、大統領候補資格確認の手続きが行われ、マシシ大統領（BDP）、ボコ・野党連合改革のためのアンブレラ（UDC）党首、サレシャンド・ボツワナ議会党（BCP）党首、ラティレ・ボツワナ愛国戦線（BPF）党首の４人を候補者とする旨、最高裁長官が発表した。ボツワナ共和党（BRP）のブタレ党首は条件（立候補に必要な推薦人の数）を満たせなかった。

【外政】

○ マシシ大統領、FOCACサミットに出席

４～６日、マシシ大統領は中国・アフリカ協力フォーラム（FOCAC：The Forum on China-Africa Cooperation）サミットに出席するため北京を訪問した。同大統領は、中国滞在中、習近平国家主席と二国間会談を実施し、来年で50周年を迎える両国の関係に触れ、長年に渡る支援と連携に感謝の意を述べた。クワペ外務大臣が同行した。

○ マシシ大統領、第79回国連総会に出席

２１日～２５日、マシシ大統領は第７９回国連総会ハイレベルウィークに出席するためニューヨークを訪問した。同大統領は、総会にてCOVID－１９や戦争からの復興等の国際的な課題について演説を行ったほか、未来サミットでは「すべての人のためのデジタルな未来」について演説した。また、同大統領は、総会に合わせて開催されたOACP首脳によるトロイカ会合にて、アフリカ・カリブ海・太平洋諸国機構（OACPS）のチャンピオンに任命された。同大統領はニューヨーク滞在中、グテーレス国連事務総長、タンWIPO事務局長、ウルピライネン欧州委員会国際パートナーシップ担当委員等と会談を行った。ネオ大統領夫人、クワペ外務大臣が同行した。

【経済】

○ 2024年の経済見通し（IMF）

１０日、IMF理事会は、２０２４年対ボツワナ第４条協議（本年７月に実施）結果報告書にて、２０２４年以降のボツワナ経済・財政の見通しを以下のとおり公表した（主要経済指標は下図）。

（１） 経済成長率

２０２４年は、ダイヤモンド市況低迷のためプラス１％（実質ベース）まで減速、翌年以

降は市況回復によりプラス4%から5%へ持ち直す。

（2）インフレ率

2024年以降、ボツワナ銀行の目標である3%から6%の範囲内に収斂。

（3）経常収支

2024年は、コロナ禍以降の旅行収支の黒字拡大や堅調なSACU関税収入による経常移転収支の黒字を計上するものの、貿易収支は、ダイヤモンド輸出の低迷により、コロナ禍以来の大幅な赤字となり、結果、経常収支は赤字が継続、ただし、翌年以降、ダイヤモンド輸出の大幅回復により、黒字転換を見込む。

（4）外貨準備高

外貨準備高は増加するものの、バッファー・ストックが輸入額の6．3か月分に減少。翌年以降、政府の対外債務返済と長期的なSACU関税収入の減少により、同ストックは同5か月程度まで減少。

（5）財政・税収

2024年度は、鉱物関連歳入の減少と公共事業の増加により、財政赤字は対GDP比で6%に拡大。政府は、財政黒字達成のため次の2年間で財政調整を計画。翌年以降、鉱物関連歳入の回復と非鉱物歳入の増加により、2027年度には黒字転換を見込む。

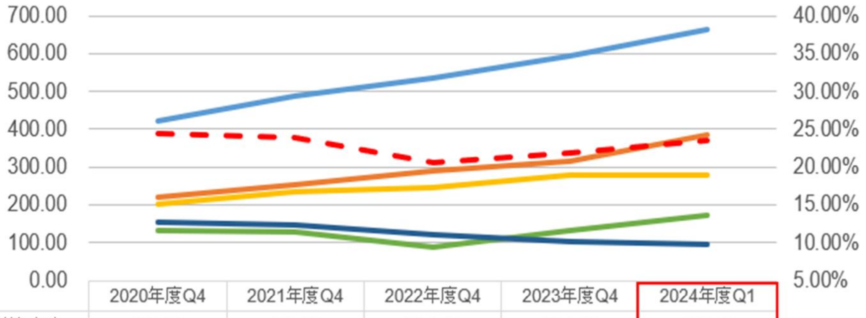
図：主要経済指標（対ボツワナ第４条協議報告書より抜粋）

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
実質GDP成長率(%)	▲ 8.7	11.9	5.5	2.7	1.0	5.2	4.8	4.0	4.0	4.0
名目GDP成長率(%)	▲ 3.5	7.9	4.9	2.6	5.1	4.1	4.4	4.4	4.4	4.5
1人当りのGNI（米ドル）	5.872	7.174	7.220	6.953	7.150	7.733	8.290	8.798	9.344	10.027
インフレ率(%)	1.9	6.7	12.2	5.1	3.8	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
経常収支（百万米ドル）	▲ 1.538	▲ 328	▲ 241	▲ 123	▲ 391	323	286	325	167	62
貿易収支（同）	▲ 1.968	▲ 652	548	▲ 458	▲ 1.383	▲ 195	42	90	▲ 3	▲ 10
サービス収支（同）	▲ 899	▲ 749	▲ 471	▲ 372	▲ 283	▲ 257	▲ 281	▲ 292	▲ 309	▲ 347
（うち旅行収支）	27	130	267	315	367	389	401	433	467	500
所得収支（同）	22	▲ 182	▲ 1.336	▲ 777	▲ 520	▲ 747	▲ 874	▲ 991	▲ 1.104	▲ 1.203
経常移転収支（同）*	1.305	1.253	1.011	1.472	1.794	1.521	1.400	1.518	1.583	1.622
直接投資（同）	100	▲ 286	698	656	685	758	828	894	964	1.049
外貨準備高（同）	4.944	4.806	4.281	4.757	4.587	4.879	5.198	5.600	5.852	6.014
輸入相当月（月）	6.4	6.6	7.1	7.3	6.3	6.0	5.8	5.6	5.4	5.1
歳入（10億プラ）	46.2	63.4	74.1	75.4	79.2	91.0	99.1	108.6	113.2	119.3
税収（同）	38.2	46.2	49.4	60.1	66.6	69.6	74.7	82.0	85.6	91.1
（うち鉱物税）（同）	3.3	7.9	10.9	6.8	5.7	10.9	12.3	13.2	12.2	12.4
税外歳入（同）	8.0	17.2	24.7	15.3	12.6	21.3	24.4	26.5	27.5	28.2
（うち鉱山配当等）（同）	6.3	15.4	22.9	13.0	10.4	19.0	21.9	23.7	24.5	24.9
歳出（同）	65.8	68.7	74.1	88.0	96.0	96.4	100.7	106.8	111.1	117.2
経常歳出（同）	55.6	56.9	59.7	67.6	72.0	75.4	79.4	84.3	89.0	94.1
開発歳出（公共事業）（同）	10.2	11.8	14.3	20.3	23.8	20.9	21.2	22.4	22.0	23.0
収支比率（対GDP:%）	-10.9	-2.4	0.0	-4.7	-6.0	-1.7	-0.5	0.5	0.5	0.5

*主にSACUからの関税収入

○ 2024年度*第1四半期公的債務−本年度は国内債務の残高、GDP割合が急上昇−

*会計年度（4月から翌年3月）



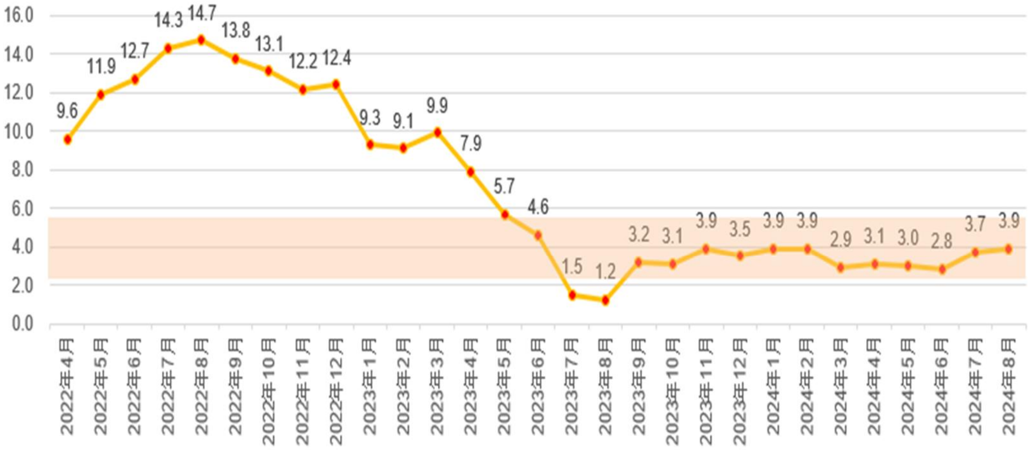
	2020年度Q4	2021年度Q4	2022年度Q4	2023年度Q4	2024年度Q1
年度末累積債務残高(億プラ)	423.74	488.07	534.15	594.61	663.52
うち対内累積債務残高	221.89	254.07	289.17	317.36	386.06
うち対外累積債務残高	201.84	233.99	244.98	277.25	277.45
年度末対GDP累積債務割合(%)	24.38%	23.91%	20.56%	21.89%	23.50%
対内累積債務割合(%)	11.61%	11.46%	9.43%	11.69%	13.67%
対外累積債務割合(%)	12.77%	12.44%	11.13%	10.21%	9.82%

年度末累積債務残高(億プラ)　うち対内累積債務残高　うち対外累積債務残高
年度末対GDP累積債務割合(%)　対内累積債務割合(%)　対外累積債務割合(%)

○ 8月インフレ率は3．9%−前月より0．2ポイント上昇−

8月の年間インフレ率（前年同月比）は3．9%となり、前月のインフレ率（同）3．7%から0．2ポイント上昇した。分野別寄与度は、上位から運輸（1．5%）、雑貨・サービス（0．7%）、食品・非アルコール飲料（0．7%）であった。

（図：最近のインフレ率の推移）



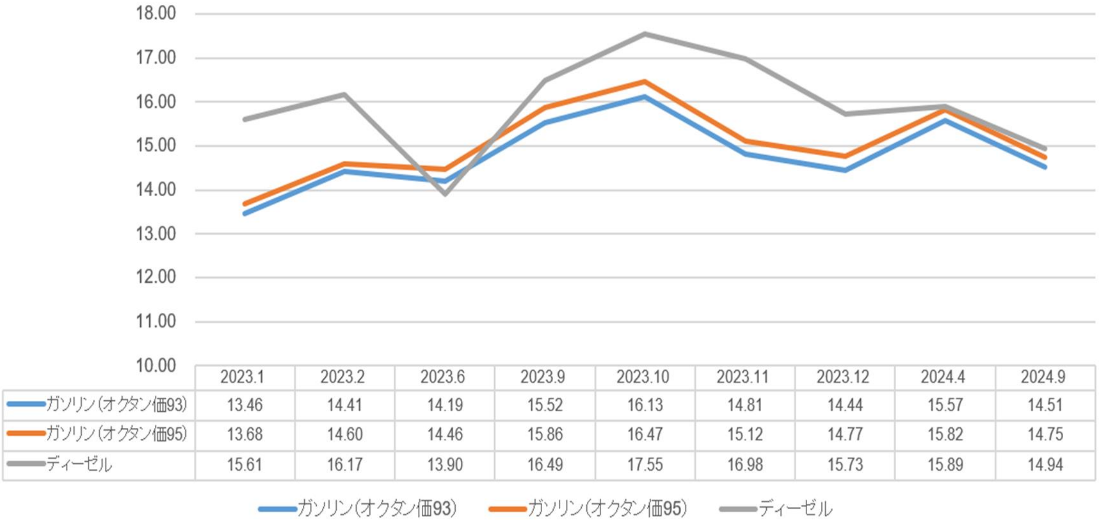
注：　ボツワナ銀行中長期インフレ目標（3%から6%）

○ 燃料価格改定−値下改定−

１０日、ボツワナ・エネルギー規制庁は、国際原油価格及び国際精製石油価格の下落、並びに米ドルに対するプラ高を踏まえ、燃料価格を減額改定した（下図）。改定後の価格は翌日より適用。

品目	改定後の店頭小売価格（一部地域を除く）
ガソリン（オクタン価９３）	１４．５１プラ/リットル（マイナス１．０６プラ）
ガソリン（オクタン価９５）	１４．７５プラ/リットル（マイナス１．０７プラ）
ディーゼル	１４．９４プラ/リットル（マイナス０．９５プラ）

（図：最近の燃料小売価格の推移）



	2023.1	2023.2	2023.6	2023.9	2023.10	2023.11	2023.12	2024.4	2024.9
ガソリン（オクタン価93）	13.46	14.41	14.19	15.52	16.13	14.81	14.44	15.57	14.51
ガソリン（オクタン価95）	13.68	14.60	14.46	15.86	16.47	15.12	14.77	15.82	14.75
ディーゼル	15.61	16.17	13.90	16.49	17.55	16.98	15.73	15.89	14.94

○ 豪鉱物探査企業による試掘ライセンスの取得−カラハリ銅ベルト４千平米−

豪Belararox社は、カラハリ銅ベルトの４千平米の試掘ライセンスを取得した。このエリアは、大規模な銅鉱脈発見の可能性が高く、併せて銀の埋蔵も期待されている。

○ EUの新規制がボツワナ牛肉輸出の足枷となる懸念

２０２５年１月から施行されるEUの森林伐採規制（森林破壊防止のためのデューディリジェンス義務付け規則：２０２４年１２月３０日から大企業に、２０２５年６月３０日から中小企業に適用開始）は、現在、９，０００トンの牛肉を欧州市場に輸出するボツワナにとってその足枷となる可能性がある。ナミビア及び米国では、自国産牛肉の欧州市場参入の障壁となる可能性を懸念する声がある。

○ ７月の国際商品貿易統計−１１か月連続の貿易赤字−

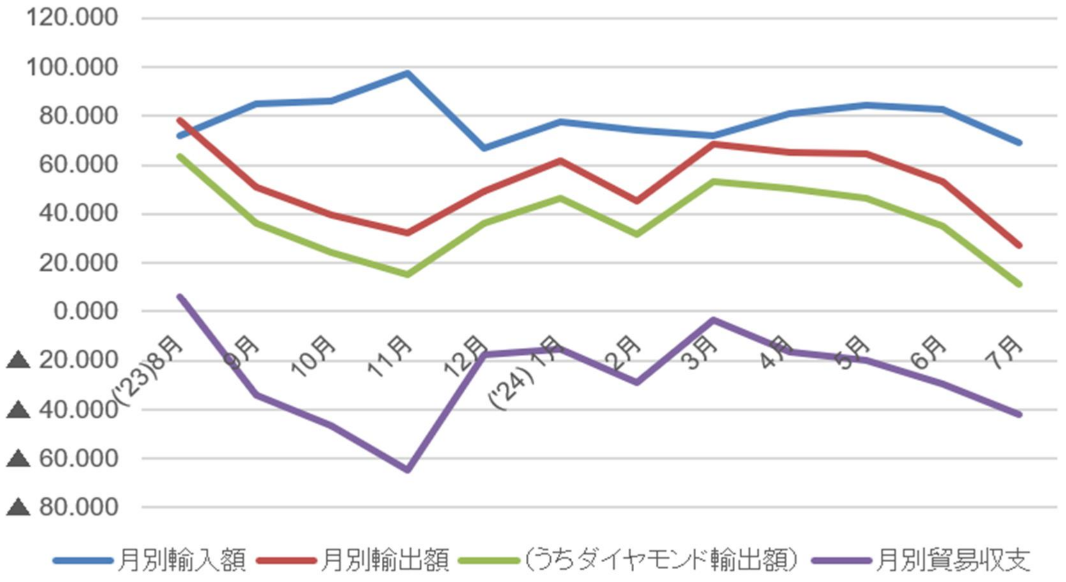
７月の輸入総額は６９．３５７億プラとなり、前月の８２．８２９億プラ（改定値）から１６．３％の減少、一方で輸出総額は、２７．２６０億プラとなり、前月の５３．２８２億プラ（改定

値）から48．8%減少した（図）。同月のダイヤモンド輸出額は11．248億プラとコロナ禍以降では最低額を記録した。この結果、同月の貿易収支は42．097億プラの赤字となり、2023年9月以降11か月連続の貿易赤字となった（同）。

（図：月別貿易収支の推移：2023年8月から2024年7月）

	('23)8月	9月	10月	11月	12月	('24) 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
月別輸入額	71.991	84.925	85.980	97.389	66.865	77.444	74.528	72.006	81.328	84.558	82.829	69.357
月別輸出額	78.364	50.966	39.457	32.434	49.466	61.897	45.566	68.672	64.985	64.706	53.282	27.260
(うちダイヤモンド輸出額)	63.615	35.999	24.185	15.282	36.332	46.231	31.835	53.354	50.537	46.681	35.043	11.248
月別貿易収支	6.373	▲ 33.959	▲ 46.523	▲ 64.955	▲ 17.399	▲ 15.547	▲ 28.961	▲ 3.334	▲ 16.343	▲ 19.852	▲ 29.547	▲ 42.097

注)2024年７月は速報値



（参考）分野別内訳：上位５分野（%）

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	燃料 21.2	飲食品等 17.8	機械・電機 16.1	化学・ゴム製品 12.1	運輸機械 18.5
輸出	ダイヤモンド 41.3	銅 31.1	機械・電機 8.5	プラスチック類 3.8	塩・ソーダ灰 3.6

（参考）国別内訳：上位５か国（%）

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	南ア 64.5	ナミビア 6.1	カナダ 5.4	中国 3.8	モザンビーク 2.5
輸出	南ア 25.6	UAE 20.3	豪州 15.2	中国 14.3	ベルギー 6.1

○ 2024年第2四半期のGDP−実質ベースで前年同期比0．5%の減少−

実質GDPは、鉱業及び採掘業の不振により前期に引き続き前年同期比で0．5%の

減少となった。実質ベースでのGDP減少は2期連続。一方、名目GDPは、685．763億プラとなり、前年同期645．441億プラから6．2％の増加となった。セクター別寄与率は、公共・防衛が17．4％と最も大きく、鉱業・採石14．2％、卸売・小売11．8％、建設11．5％と続いている。

【当館関連行事】

○ ボツワナ見本市での日本文化紹介イベントの実施

8月26日～9月1日、ハボローネ市内にて当地最大規模のイベントであるボツワナ見本市が開催された。当館はブースを出展し、JOCV隊員と協力し日本文化（折り紙、書道、抹茶、浴衣・法被試着体験等）及び日本留学等について紹介した。国内外の民間企業、政府機関、NGO等が約550のブースを出展し、多数の政府関係者、一般市民が来場した。JICAボツワナ支所も出展し、事業紹介、JOCV隊員の活動紹介等が行われた。

○ 帰国留学生との懇談会及び新規留学生壮行会の実施

6日、元国費留学生、新規国費留学生（研究留学生、教員研修生）、新規JICA長期研修生、当地外務省関係者を大使公邸に招待し、ネットワーキング及び新規留学生の壮行会を行った。歓迎挨拶にて、大森大使より当地での人材育成支援について説明するとともに、ボツワナ外務省関係者からは国費留学制度を始めとする我が国の支援に謝意が表された。

○ 第14回国際交流基金主催日本映画祭の開催

19日～21日、ハボローネ市内の映画館にて、第14回国際交流基金日本映画祭を開催した。本年度は上映希望が多い日本のアニメに特化し、アニメ5作品を上映した。また、例年都筑・ボツワナ交流児童画事業が行われているベン・テマ小学校及びメディア・コミュニケーション学部を有するリムコックウィン大学において、特別上映会を実施し、児童・学生達が日本アニメ作品の映画鑑賞を楽しんだ。

（了）